



TITLE:

1941年1月の天象

AUTHOR(S):

CITATION:

1941年1月の天象. 天界 1940, 21(235): 294-293

ISSUE DATE:

1940-12-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/168091>

RIGHT:

皇紀2601年、わが日本の第27世紀の最初の、
めでたい正月である。夕空の東天を飾る**木土**
兩星と、前年以來の**カニンガム彗星**とが、この
月の主な話題であらう。その他の遊星では**金**
星と**天王星**、**海王星**が見られる。

1941年

1月の天象

暦によれば、この昭和16年は、大正30年、

明治74年、ユリウス週期の第6654年に當り、干支では辛巳の平年（日數365）である。外國の暦では、滿洲國康德8年（獨立第10年）、中華民國30年、蒙疆成吉思汗736年、ローマ紀元2694年が何れも1月1日に、ユリウス暦1941年が1月14日に、ヘジラ紀元即ちマホメト紀元の回回曆1360年が1月28日の日没時に始まる。

太陽 “いて座”中央から“やぎ座”西部に入る。4日3時に地球との距離が最短（1億4694萬キロ）。小寒は6日1時57分、大寒は20日19時28分、土用入は17日。視半径は4日頃に最大（16分18秒角）、月末には16分16秒角。時差はこの月は負で平均太陽は眞太陽の西にある。カリントン太陽自轉期は世界時3.18（日本時3日13時25分頃）から第1168期に入る。年初の平均黃道傾斜角は23度26分49.06秒。

月 5日22時40分に“うを座”で上弦。13日20時4分に“ふたご座”東端で満月、20日19時1分に“をとめ座”東端で下弦、27日20時3分に“やぎ座”で新月（ブラウン月相第224期の始まり、舊正月朔）。地球からの距離、最遠は6日14時（視半径は極小で14分47秒角）、最近は19日17時（視半径は極大で16分9秒角）。

水星 月初めは曉天（いて座）、11日19時に太陽と外合、後、宵天に現れ“やぎ座”を横切つて“みづがめ座”にせまる。この月は太陽に近くて駄目。光度は-1；視半径は月初め2.3秒角、月末2.8秒角；地球との距離は月初め1.431單位、6日に最遠で1.437單位、月末1.199單位。

金星 曉天、次第に太陽に近づく。“へびつかひ座”南部から“いて座”東部まで進む。光度は-3.4；視半径は月初め5.8秒角、月末5.3秒角；輝面の割合は月初め9割0分、月末9割5分；地球との距離は月初め1.458單位、月末1.582單位。25日24時に降交點通過、26日5時10分に月と會合（月は金星の北5度）。

火星 毎日4時頃に東天に昇る。“てんびん座”東端から“さそり座”北部を横切つて“へびつかひ座”南部にまで進み、次第に太陽より離れる。17日の曉に“アンタレス”に最も近づき、南北に赤星がならぶ。光度は月初め1.7、月末1.5（アンタレスは1.2）；視半径は月初め2.2秒角、月末2.4秒角；地球との距離は月初め2.165單位、月末1.925單位。23日18時48分に月と會合（月は火星の北4度半）。

木星 日がくると既に天頂近くに、土星とならんで昇つてゐる。“ひつじ座”南西部を順行中。光度は月初め-2.2, 月末-2.0; 極視半径は月初め20.5秒角, 月末18.5秒角; 地球との距離は月初め4.481単位, 月末4.967単位。7日16時11分に月と會合, 27日15時に東矩。

土星 木星の僅か東にあり, 月初め逆行してゐるが, 10日19時に西留となつて順行にかへる。木星との間隔は次第に減する。7日21時17分に月と會合, 28日22時に東矩。光度は月初め0.4, 月末0.5; 極視半径は月初め8.6秒角, 月末8.1秒角; 地球との距離は月初め8.696単位, 月末9.194単位。

天王星 “ひつじ座” δ 星の南東約3度のところを逆行中。30日17時に西留, 以後順行となる。光度6.0; 視半径1.8秒角; 地球との距離は月初め18.876単位, 月末19.345単位。9日0時37分に月と會合(月の北3度半)。

海王星 “をとめ座” β 星の東方約2度のところを逆行中。夜半頃東天に昇る。光度7.7, 視半径1.2秒角, 地球との距離は月初め30.006単位, 月末29.538単位。18日13時に月と會合。

冥王星 “かに座”の中央を逆行中。光度15等, 地球との距離38単位。

流星 上旬の四分儀座流星群に注意。別頁及び月報欄参照。

カニンガム彗星(1940c) 12月上旬“はくてう座” β 星の西を南下して15年末には“わし座” γ 星に近づく。光度も大きく肉眼星にもなりさうだから月のない12月下旬には容易に見られるだらう。月報欄及び急報を参照のこと。

==== 天 文 暦 ====

- 一月 1日 ピヤッジ小遊星セレスを発見す(1801年)
 3 ホロクス歿す(1641年); チャールズ・ヤング歿す(1908年)
 4 エヤリ歿す(1892年)
 5 高橋東岡歿す(文化元年)
 14 ハリ歿す(1742年)
 19 ボーデ生る(1747年); カプタイン生る(1851年)
 20 ジョン・アダムス歿す(1892年)
 21 トンボI冥王星を発見す(1930年)
 24 アウヴェルス歿す(1915年)
 27 セルシウス(瑞)生る(1701年)
 28 ヨハン・ヘヴェリウス生れ(1611年), 歿す(1687年)

【全て日本標準時】

一月の天文カレンダー

日	曜	月齢 (正午)	干支	天界現象	太陽表(毎日9時の値)				ユリウス日 (21時)
					P(度)	B ₀ (度)	L ₀ (度)	時差(分)	
1	水	3.2	己酉		+2.2	-3.1	28.8	-3.4	2429996.0
2	木	4.2	庚戌		+1.7	-3.2	15.6	-3.8	997.0
3	金	5.2	辛亥		+1.2	-3.3	2.4	-4.3	998.0
4	土	6.2	壬子	地：近日點	+0.7	-3.4	349.3	-4.8	999.0
5	日	7.2	癸丑	上弦	+0.2	-3.5	336.1	-5.2	2430000.0
6	月	8.2	甲寅	{小寒 月：最遠	-0.3	-3.7	322.9	-5.7	001.0
7	火	9.2	乙卯	{木・月 土・月	-0.7	-3.8	309.8	-6.1	002.0
8	水	10.2	丙辰		-1.2	-3.9	296.6	-6.5	003.0
9	木	11.2	丁巳	天・月	-1.7	-4.0	283.4	-7.0	004.0
10	金	12.2	戊午	土：西留	-2.2	-4.1	270.3	-7.4	005.0
11	土	13.2	己未	水：外合	-2.7	-4.2	257.1	-7.8	006.0
12	日	14.2	庚申		-3.2	-4.3	243.9	-8.2	007.0
13	月	15.2	辛酉	満月	-3.6	-4.4	230.7	-8.6	008.0
14	火	16.2	壬戌		-4.1	-4.5	217.6	-8.9	009.0
15	水	17.2	癸亥		-4.6	-4.6	204.4	-9.3	010.0
16	木	18.2	甲子		-5.0	-4.7	191.2	-9.6	011.0
17	金	19.2	乙丑		-5.5	-4.8	178.1	-10.0	012.0
18	土	20.2	丙寅	海・月	-6.0	-4.9	164.9	-10.3	013.0
19	日	21.2	丁卯	月：最近	-6.4	-5.0	151.7	-10.6	014.0
20	月	22.2	戊辰	{下弦 大寒	-6.9	-5.1	138.6	-10.9	015.0
21	火	23.2	己巳	冥：對衝	-7.4	-5.2	125.4	-11.2	016.0
22	水	24.2	庚午		-7.8	-5.3	112.2	-11.5	017.0
23	木	25.2	辛未	火・月	-8.3	-5.4	99.1	-11.8	018.0
24	金	26.2	壬申		-8.7	-5.4	85.9	-12.0	019.0
25	土	27.2	癸酉	金：降交點	-9.1	-5.5	72.7	-12.3	020.0
26	日	28.2	甲戌	金・月	-9.6	-5.6	59.6	-12.5	021.0
27	月	29.2	乙亥	{木：東矩 新月 舊正月朔	-10.0	-5.7	46.4	-12.7	022.0
28	火	0.7	丙子	{土：東矩 水・月	-10.4	-5.8	33.2	-12.9	023.0
29	水	1.7	丁丑		-10.9	-5.8	20.1	-13.1	024.0
30	木	2.7	戊寅	天：西留	-11.3	-5.9	6.9	-13.3	025.0
31	金	3.7	己卯		-11.7	-6.0	353.7	-13.5	026.0